

事務事業分析シート（平成29年度）

No1

主要事業	● 事務事業コード		10-04-01		戦略プラン		● 協働		○ 業務		○ 財務		○ 人事		
事務事業名	荒川遊園管理運営費				部課名	子育て支援部荒川遊園課			課長名	山下					
					担当者名	富岡			内線	473					
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（29年度）			01-03-01		荒川遊園営繕費										
			01-02-01		荒川遊園事業費										
			01-03-01		荒川遊園営繕費										
事務事業の種類			○ 新規事業（○ 29年度 ○ 28年度）					○ 建設事業		● それ以外の継続事業					
開始年度			● 昭和 ○ 平成		25 年度		根拠	都市公園法							
終期設定			○ 有 ● 無		年度		法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則							
実施基準			○ 法令基準内		○ 都基準内		● 区独自基準		計画区分	○ 計画		● 非計画			
行政評価 事業体系			分野	子育て教育都市											
			政策	03		子育てしやすいまちの形成									
			施策	01		多様な子育て支援の展開									
目的		都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。													
対象者等		小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者													
内容		【荒川遊園の概要】 総面積50,841㎡ A地区...31,466㎡（有料地区）、B地区...5,234㎡（子どもプール）、 C地区...14,141㎡（地下駐車場） 【事業の内容】 遊園地の管理運営 大型遊戯施設、小型遊具、エア遊具、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店、 水あそび広場、アリスの広場 子どもプールの管理運営及びプール休止期間における施設の有効活用 都市公園の維持管理等 子育て支援施設 授乳室2箇所、おむつ交換所6箇所													
経過		平成元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務委託 平成 3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成20年2月 ふあふあ事故発生 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年3月11日、東日本大震災発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成23年4月 指定管理者制度を廃止、子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成23年5月 下町都電ミニ資料館オープン 平成23年9月21日～ 大型遊具全機種について通常運行再開 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計に着手													
必要性		荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。													
実施方法		（2一部委託）（直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） 委託業務：遊戯施設運転・保守、入園案内、動物飼育、釣堀運営、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子供プール運営、キャラクターショー													

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額		326,989	294,024	284,635	300,605	303,952	381,546	410,389
決算額（29年度は見込み）		289,201	274,441	274,624	280,219	289,766	353,903	410,389
実績 の 推 移	事項名（29年度は見込み）	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	入園者数（総数[人]）	363,788	347,924	356,397	380,291	391,201	404,002	420,000
	子供プール（人）	20,727	30,519	31,341	25,133	25,730	23,930	30,000
	遊戯施設利用者数（千人）	1,071	1,317	1,300	1,361	1,409	1,498	1,500
	釣堀（人）	32,232	31,391	34,920	38,123	40,438	43,000	44,000

予算・決算の内訳								
平成27年度（決算）			平成28年度（決算）			平成29年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需要費	光熱水費、食糧費、一般需要費	38,581	報償費	各種教室講師謝礼	2,484	需用費	園内核施設小破修繕、豆汽車修繕	22,461
委託料	樹木管理、浄化施設、地下駐車場業務委託	68,500	旅費	材料検査旅費（執行委任）	25	工事請負費	地下駐火災受信機改修、濾材交換工事	42,405
報償費	各種教室講師謝礼	2,163	需用費	光熱水費、食糧費、一般需要費	36,732	報償費	各種教室講師謝礼	2,626
需要費	動物・乗物広場小破修繕	12,132	需用費	園内各設備小破修繕	7,272	需用費	光熱水費、食糧費、一般需要費	38,580
委託料	遊戯施設委託、動物飼育業務委託他	141,520	需用費	動物・乗物広場小破修繕	14,759	委託料	樹木管理、清掃委託、地下駐車場業務委託	104,410
需要費	園内各設備小破修繕	9,797	役務費	行事保険料、郵便料	14	使用料及び賃借料	電子複写機賃借、入園券売機リース	1,953
工事請負費	高圧ケーブル改修工事他	12,526	役務費	子どもプール水質検査	28	備品購入費	管理用備品購入	300

		勘定科目			27年度	28年度	差額			勘定科目			27年度	28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	-	37,180	-	行政収入	地方税	-	0	-					
		物件費	-	261,086	-		国庫支出金	-	0	-					
		維持補修費	-	46,396	-		都支出金	-	0	-					
		扶助費	-	0	-		分担金及び負担金	-	0	-					
		補助費等	-	2,494	-		使用料及び手数料	-	261,617	-					
		減価償却費	-	88,315	-		その他	-	12,785	-					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-		行政収入合計(a)	-	274,402	-					
		賞与・退職給与引当金繰入額	-	1,377	-		行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 170,196	-					
		その他行政費用	-	7,750	-		金融収支差額(d)	-	0	-					
		行政費用合計(b)	-	444,598	-		通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 170,196	-					
特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-								
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 170,196	-								
備考	使用料及び手数料は、入園料やプール利用料等の事業施設使用料収入が260,349千円となり、その構成比の大半を占めている。														

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み	目標値(38年度)	
入園者数(人)	入園者数(人)	380,291	391,201	404,002	420,000	450,000	年間入園者総数
	遊戯施設利用者数(人)	1,361,219	1,409,252	1,497,867	1,500,000	1,600,000	大型遊具、小型遊具、ふあふあ遊具利用者

問題点・課題	安全安心の運営により重大事故ゼロを続けていくために、さらなる安全管理体制の強化を図る必要がある。 園の魅力のさらなる向上のため、即時性のある情報提供のほか、多様なイベント等を実施していく必要がある。 老朽化した大型遊戯施設の入替えを中心とした改修により、荒川遊園の更なる魅力向上を図っていく必要がある。						
他状況の実	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 23区唯一の区立遊園地						

問題点・課題の改善策			
	平成28年度に取り組む具体的な改善内容	平成28年度に実施した改善内容および評価	平成29年度以降に取り組む具体的な改善内容
	日常的な点検を強化し、施設の不具合等に対応し利用者が安全に過ごせるよう、適正な維持管理に努めていく。	職員による巡視を毎日行い、電灯や段差等不具合の状況を園全体で共有する等して迅速な対応に努めた。	荒川遊園見守り隊及び荒川遊園安全管理委員会を中心とした安全管理をさらに推進、徹底していく。
	即時性のある情報提供に努めるほか、全国連携事業の実施等により、園の魅力のさらなる向上及び利用者数の拡大を図る。	「雪で遊ぼう」、水辺フェスタ等、全国連携事業を始めとした魅力的な事業を関係部署と連携して実施し、園の魅力向上を図った。	新たな全国連携事業を実施するとともに、広報も積極的に行い、荒川遊園の更なる魅力向上及び利用者数の拡大を図る。
	荒川遊園改修基本計画・基本設計策定に向け、課題の整理、改修方法の検討を行う。	荒川遊園事業推進協議会の検討を踏まえ、改修内容案を作成し、29年度の基本計画・基本設計策定に向け準備を整えた。	改修基本計画及び基本設計を策定し、それに基づいて計画的に効率的に改修を行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川区の最大の観光資源であり、子育て支援施設の拠点である荒川遊園の改修を成功させることは極めて重要である。

議 決 要 質 問 状	【平成28年2月会議】 改修期間中は全面休園か、一部休園かについて精査を、一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用を、植栽、花のコンテナの全面的な見直しを、イルミネーションをするべき、夜間営業に向けた営業時間の見直しを、リニューアルに合わせて入園料の改定を、来園者を遊園周辺へ回遊させるべき、旧小台橋小跡地の遊園拡張地を子育て支援の森に
-------------	--